

2018年 7月23日  
 京成電鉄株式会社  
 北総鉄道株式会社

## 京成電鉄・北総鉄道合同

# 「スカイライナー異常時合同訓練」 千葉県警察の協力を得て実施しました

スカイライナー車両で不審物を発見した際の対応力を強化しました  
 7月20日(金)9:30～北総鉄道 印旛車両基地

京成グループの京成電鉄(本社:千葉県市川市、社長:小林 敏也)と北総鉄道(本社:千葉県鎌ヶ谷市、社長:室谷 正裕)では、7月20日(金)9:30より、北総鉄道の印旛車両基地(千葉県印西市)において「スカイライナー異常時合同訓練」を実施しました。

これは、京成電鉄・北総鉄道両社の輸送の安全確保および重大事故発生時における対応力・技術力の向上と関係各者間の連携強化を目的として、2010年度より毎年実施しているものです。今回は東京2020オリンピック・パラリンピック大会を2年後に控えていることから、万々に備え、テロ発生時における対応力を一層強化するため、スカイライナーの車内で異臭(薬品)発生と乗客の中に不審者がいることを想定し、千葉県警察本部、印西警察署と連携して訓練を行いました。

訓練では、走行中のスカイライナーが、テロ行為により運転不能となり、車内で異臭が発生したことを想定し、非常脱出用の梯子を使用した乗客の避難誘導や負傷者の救護、スカイライナーと救援列車を連結し、推進する(故障列車を後から押す)訓練などを総勢約150名で行いました。なお、避難誘導の際には、お客様からの通報に基づき、警察官が職務質問し、不審者を発見・確保する訓練も実施しました。

なお、訓練の詳細は次頁のとおりです。



訓練の様子(写真左:不審者確保の様子、写真右:スカイライナーと救援列車を連結する様子)

## スカイライナー異常時合同訓練について

1. 日 時 2018年7月20日(金)9:30~12:00
2. 場 所 北総鉄道 印旛車両基地  
【所在地】千葉県印西市みどり台3丁目468番地
3. 参加者 京成電鉄社員、北総鉄道社員、千葉県警察本部、印西警察署  
約150名
4. 訓練概要 (1)事故想定内容
- ・お客様から異臭の通報を受け、スカイライナー運転士は直ちに非常停止手配を執り、停止。状況を確認すると、薬品のような刺激臭を認めるとともに、機器破損により運転不能であることが判明。
  - ・お客様4名が体調不良による軽傷
- (2)訓練内容
- ・連絡通報、負傷者救出、お客様の誘導案内
  - ・スカイライナー非常脱出梯子の取扱い及びお客様の降車
  - ・北総車両によるスカイライナーとの連結・推進運転
  - ・不審物(薬品)の撤去
  - ・不審者の確保

以 上